

令和3年 5月市長定例記者会見

日 時：令和3年4月27日（火） 午後3時～

場 所：射水市役所会議室302

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、北日本放送、
チューリップテレビ、エフエムいみず、庄東タイムス

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、
未来創造課長、保健センター所長、生涯学習・スポーツ課長

○質疑応答の概要

Q 1. 高齢者以外の新型コロナウイルスワクチン接種はいつ頃になりそうか。

A 1. 65歳以上の高齢者については、5月17日からの接種となる。ワクチンの供給量にもよるが、政府においては、高齢者分は7月末までに必要量を供給するとしているので、高齢者については7月中に終わるように進めていきたい。65歳未満の方については、こうした高齢者の方の接種の状況を見ながらになるが、予定通りワクチンが供給されれば、接種券の送付は6月以降、実際の接種は7月以降になると考えている。

Q 2. 医療従事者の新型コロナウイルスワクチン接種率はどのくらいか伺いたい。

A 2. 2回接種された方が約4割、1回目のみと2回接種済みを合わせると約8割が接種済みという状況である。

Q 3. 市長の連休中の予定について伺いたい。

A 3. 下村加茂神社の流鏝馬神事、高岡の御車山、城端の曳山など例年出席している行事が中止となったので、自宅で家族と感染防止対策を徹底しながら過ごしたい。

Q 4. 65歳以上の方の新型コロナウイルスワクチン接種について、「5月17日の週から」接種開始というのは、5月17日（月）が初日ととらえてよいのか。

A 4. 指定医療機関の中には月曜日から接種をしないところもあるので「5月17日の週から」という表現にしている。接種が出来るところについては、5月17日から接種を始めることになる。

Q 5. 集団接種のスタートが5月22日（土）なのは、週末から始めたほうがよいと判断したからなのか。

A 5. ワクチンの量が十分確保できるのかという心配があり、まずはそれぞれの指定医療機関での接種を優先するという観点から、集団接種は少し時期を遅らせての開始とした。また、射水市では32という多くの医療機関からご協力をいただいているので、ぜひお近くの指定医療機関や、普段診察や投薬を受けている指定医療機関をご利用いただきたい。また、集団接種は土日に自家用車で行きたいという方などを対象としたいので、そういった観点からも、5月22日（土）からの開始としている。

Q 6. 既に新型コロナウイルスワクチンの接種を終えた高齢者施設に入所中の高齢者の中で、重篤な副反応がみられた方はいるのか。

A 6. 高齢者のうち、施設に入所中の方にはすでに接種を進めているが、現在のところ、重篤な副反応を起こされた方は見受けられない。

Q 7. 市が発注する工事の入札について、2年ほど前のオリンピック特需があったころは首都圏に人手がとられて入札が不調に終わることがあったかと思うが、景況感が変わった最近でも、市が発注する工事の入札で応札があまりないということはあるのか。

A 7. 万が一そういうことが起こるとしたら、工事の積算と入札しようとした事業者の見積りの差異によって、例えばこちらの設定価格があまりにも低く、事業者の方が請け負っても仕事ができない、というケースだと思うが、入札が不調になるケースは確認している限りでは最近は見られない。

Q 8. ノーネクタイ等働きやすい服装の通年実施の試行について、ウォームビズの実施によって暖房の節約などを目指しているのか。

A 8. この対策の目的の一つに節電や省エネルギーを考えており、これまでもクールビズ期間には動きやすい服装・ノーネクタイを実施し冷房の設定温度28度を一つの目安としてきた。ウォームビズ期間でのノーネクタイということで、この期間にも空調の推奨温度などの対応をしていきたいが、あくまでも来庁される方にとって不快ではないようにしながら対応していくことになる。できるだけこういう取組に協力してもらえよう促していきたい。

Q 9. 国では2030年までのCO2削減目標を46パーセントに設定しているが、射水市はこれに関して今後10年間で取り組んでいきたいことはあるか。

A 9. 射水市においては、これまでも環境保全や地球温暖化対策に関する様々な取組をしてきた。プラスチックによる海洋環境の悪化への対策として、プラスチックの循環計画も検討しているところで、こういった取組みもしていきたい。また、CO2の排出抑制については、県内にもゼロカーボンシティの取組を進めているところがあり、本市においても検討したいが、様々な企業や民間施設があり、また市内においての森林などによるCO2の吸収においても少し弱いので、市単体でのゼロカーボンシティの実現はやはり難しい面がある。だからこそノーネクタイ等の取組みや、一つ一つのソフト事業をしっかりと実施し、2030年の国の目標達成に向けて射水市としても少しでも貢献できるように取り組んでいきたい。

Q 10. 射水市 LINE 公式アカウントについて、市民により一層迅速に情報を伝えることが一番の狙いなのか。

A 10. 迅速に、確実に情報を提供することが、特に緊急時においては重要なテーマになってくるので、射水市 LINE 公式アカウントを開設することで少しでもそういった環境・体制の強化につながればと考えている。

Q 1 1. アルビスの割引クーポンの配信は毎月 2 5 日ということだが、スタートは 5 月 2 5 日ということでしょうか。

A 1 1. 開始日は 5 月 2 5 日である。